

YWVOB会 会報 No.18

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

2000年12月16日発行

第1章 2001年度総会報告

常任幹事会副幹事長：藤井謙一郎(33)

1) 当日の様様

去る10/28(土)、蓼科温泉の親湯で2001年度YWVOB総会が開催された。一昨年の五八木総会に続く宿泊を伴う総会だが、今回は地の利を活かして初のOB山行を組み合わせた。当日は11時頃から会員が徐々に集まり、早めにチェックインした幹事部屋で、昔のアルバムやスカイラインを囲んでの話、総会の直前打合せが行われた。渋滞で遅れた会員もいたが、定刻14時にはほぼ全員が集まり開会した。

総会は、窓一面の紅葉をのぞみながら進行。嘉納会長による挨拶に始まり、定則数の確認、新入会員承認、報告事項、事業計画紹介などが質疑を交えながら進められた(議事録参照)。16:30に総会が終

った後、各自温泉などに入り、懇親会が始まった。懇親会は各期の近況紹介や自己紹介をはさみながら進み、中には30年ぶりに再会したケースも。もちろん締めは「みはるかす」大合唱とエール交歓。その後は一番広い部屋に全員が集まり2次会にもつれこんだ。持ち込んだ大量の酒とつまみを囲み、日付が変わってからもシンポジウムと称した様々なディスカッションが活発に続けられた。



宴会場のステージで記念写真

2) 総会議事録

出席者 嘉納秀明(1)、吉野大次郎(2)、宮崎結(2)、斎藤貞夫(4)、高田良子(4)、郡司直樹(4)、菅谷光雄(6)、安藤貞利(11)、高橋秀雄(11)、榎本吉夫(12)、鈴木道夫(14)、小口雄平(14)、上野節子(14)、狩野一子(14)、高橋とし子(14)、中島一夫(15)、笹倉実(30)、藤井謙一郎(33)、田村顕洋(34)、松下淳朗(34)、井口健太郎(34)、小野恵美子(34)、細谷慎一(38)、山崎美穂(39)、後藤誠史(39)、覚田陽一(40)、金丸雄介(42)、小林圭(43)、梶ヶ谷圭祐(43)、杉浦康之(44)、志賀圭(44) 以上31名

開会宣言 (嘉納会長)

「OB会は過去を懐かしむだけの存在ではない。おおいに活動するOB会を目指し、昨年会則や役員を決め、活性化の第一歩を踏み出した。小屋維持や会報では献身的な努力がなされている。

会費の納入は150人、全会員の約3割。これは優秀な数字ではあるが、今後は250人を目指す。そのためにはOB会が面白いこと、役立つことをPRして人数を増やすしかない。

YWV創立50周年まであと7年。50周年をきちんとやることを念頭に入れて活動していきたい。小屋再建を目玉とすることも検討に値する。新たに建ると2000万円。これは200人が10万円ずつ出すことによっても達成できる。しかし2000円の会費を150人しか払っていない状況では非現実的だ。熱心な会員が毎年10万円ずつ積みたてていっても達成できるが、そこまでの活性化はしていない。OB会としても様々な発想で活性化を図っていくので、会員の皆様の協力をお願いしたい。」

39期 片大輔(正統) 水野秀俊(正統)

和勤 甲斐(中道誠) 深田(中道誠) 伊藤(中道誠) 徳本(中道誠)

竹内(中道) 竹下(中道) 伊藤(中道) 伊藤(中道) 渡辺(中道) 渡辺(中道)

新会員承認

赤羽剛志(39)、池田征史(39)、四方領(39)、竹内めぐみ(39)、中村悦子(40)、柚洞綾子(40)、平田明日美(41)の7名が新会員として承認された。それにより、OB会正会員数は466名となった。

「定足数について」対象会員数:466名、出席者:26名、書面による議決の委任者:223名、書面による議決を委任した会員が属する「期」の総数:39期(27期以外の全期)従って会則第38条に基づき、過半数の「期」の出席があるので、2001年度YVVOH総会は成立した。

関西支部報告 (宮崎関西支部長)

「関西支部は名簿上は25名の対象者がいるはず。しかし大阪や京都といった関西中心部の人があまりいないのが難点である。メンバーが固定しつつあるので、メンバーの把握と募集がなかなか難しいのが現状。今期から支部として補助がもらえるので、来年は会計報告をしたい。」



宮崎関西支部長

OB会活動報告 (藤井副幹事長、田村総務委員長)

前年総会において承認された現組織の下、OB会の基本的役割である「親睦活動」「ワングル活動」「現役との協調」「運営体制の確保」を実践すべく、活動を始動した。

【2000年度の活動内容】

- ・会則の改正を受け、幹事会、総務委員会、小屋委員会の活動が本格始動した。
- ・20年ぶりの会報の復刊(16号)を実現し、さらに17号を発行した。
- ・小屋委員会による小屋整備イベント「リフレッシュ2000」が多数の参加により成功した。
- ・メーリングリストを機能の優れたサイトに移し替え、会報で登録の勧奨を行った。
- ・初のOB山行を立案した。
- ・名簿のDB化、情報収集の効率化を進め、99/11に最新名簿をほぼ全会員にe-mailと郵送で送付した。
<会員状況(00/10/23)>部長等5名、正会員466名

【総括】

- ・幹事会が正式に承認を受け、飛躍的に活動が充実した年度となった。
- ・会報2冊の発行により、OB会活動の認知度が高まりつつある手応えを受けた。
- ・会報原稿提供や小屋整備への参加による地方のOBの直接的な協力が得られた。
- ・現役部員の参加により、現役の状況やOB会に対する率直な考えを吸収できるようになった。
- ・1～43期まで、幅広い年代の交流により、世代間ギャップが埋められつつある。

OB小屋委員会活動報告 (笹倉小屋委員長)

昨年OB小屋委員会の設立が承認されて以来、ほぼ毎月委員会を開催し、以下の取組みを行った。

(1) 委員会の体制整備。

委員長 (全体取り纏め、委員会の召集)	笹倉実(30)
副委員長 ()	伊藤明広(31)
会計 (小屋会計統括、募金計画立案)	伊藤明広(31)
管理・整備 (五八木との連絡、整備計画立案)	鈴木道夫(14)、田中義人(34)
再建 (再建計画)	郡司直樹(4)、伊藤明広(31)、後藤誠史(39)、佐々健太郎(37)
広報・宣伝 (小屋広報、利用状況集計、記録)	菅谷光雄(6)
委員	池原盛彦(8)、向井良作(18)、宮崎英樹(30)、細谷慎一(38)、堀環(38)
現役連絡窓口	笠原正大(41)、赤井研樹(43)

- (2) 小屋の利用実態調査を行い、会報17号で公開。
- (3) 計3回のOBによる冬季除雪の実施。
- (4) 現役小屋の冬季除雪などの保守に関する交通費補助制度(OB会50%負担)を設置。
- (5) 9月3連休に現役・OB合同の小屋整備イベント「リフレッシュ2000」を開催。
- (6) 小屋備品の棚卸しや整備の作業基準書の作成も行った。

2000年度会計報告 (田村総務委員長)

2000年度会計については、以下の内容で報告された。同時に、吉野監査役による監査報告書の嘉納会長への提出と、出席会員による承認が行われた。

会計期間1999.4.1~2000.9.30			
前期繰越金(1999.4.1)	683,842	①	
2000年度収支計算書			
収入		支出	
1998年度会費	3,000	五八木お土産	1,050
2000年度会費	245,000	苗名小屋改修費(99年分)	427,000
2000年度寄付	848,548	振込み手数料	735
その他(前納など)	41,000	五八木額代	1,029
利子	840	記念品代等	19,300
ｽﾀｲﾘﾝｸﾞ寄付(下村蓉子さん)	100,000	総会昼食代	20,000
小屋寄付(嘉納)	50,000	総会飲食代	35,315
関西支部寄付	50,000	総会案内・99年分	108,333
総会会費	80,000	名簿発送代他幹事会費用	21,085
		第16号会報作成発送費	295,568
		第17号会報作成発送費	189,251
		小屋会計振替え	274,542
		幹事会開催補助	10,000
		その他支出	36,584
	1,418,388		1,439,792
		当期収支(②-③)	-21,404
②		③	
次期繰越金(①+②-③)		662,438	
		④	
未払金		前受け金	
第17号会報作成発送費	189,251	2001年度会費	170,000
小屋会計振替え	274,542	前納会費(2001-2006)	510,000
幹事会開催補助	10,000	2001年度小屋カンパ	692,044
計	473,793	2001年度総会参加費	313,000
	⑤	名簿郵送費、その他収入	42,000
		計	1,727,044
			⑥
帳簿残(④+⑤+⑥)		預金残高(2000.9.30)	
次期繰越金	662,438	振替口座	2,840,317
未払金	473,793	普通口座	22,958
前受金	1,727,044	計	2,863,275
計	2,863,275		*
	*		*

2000年度OB小屋委員会 特別会計決算報告

2000.1.1付で施行された「OB小屋委員会特別会計」については以下の内容で承認された。

収入の部		支出の部	
OB会計から振替	274,542円・①	リフレッシュ2000関連	286,181円・(1)+(2)+(3)-④
寄付(5期諸角氏)	27,268円・②	(備品関連)	(214,651円)・(1)
寄付(6期菅谷氏)	10,000円・③	(食費関連)	(50,525円)・(2)
		(現役交通費補助)	(21,005円)・(3)
		修繕費	10,119円・⑤
		除雪関連費	13,150円・⑥
		通信費	550円・⑦
		その他	2,170円・(4)+(5)+⑧
		(北村氏見舞い品)	(2,040円)・(4)
		(振込手数料)	(130円)・(5)
収入合計	312,170円・①+②+③=A	支出合計	312,170円・④+⑤+⑥+⑦+⑧=B
		収支合計	0円・A-B

リフレッシュ2000開催により、支出は当初予算額[230,000円]を超過(82,170円)したものの、当日の寄付金(37,268円)や小屋関連寄付によるOB会計からの振替増(44,542円)があり、収支合計は0円となった。

役員退任、任命

OB幹事会の体制の充実を図ることを目的とした以下の内容が承認された。

【退任役員】	監 査 役：吉野大次郎(2)
【新役員】	会 計 幹 事：吉野大次郎(2) OB小屋副委員長：伊藤明広(31) OB小屋幹事委員：田中義人(34)、細谷慎一(38) 監 査 役：井上肇(3)
【新理事】	関西支部幹事：諸角壮弐(5)

2001年度の事業計画

*2001年度の事業計画および予算案は、第4章に別掲いたしましたのでご覧下さい。

主な質疑応答

Q. 色々な形で寄付が集まっているが、会報に載せることは考えないのか？

A. 小屋への物品寄付や現金の寄付があり、これは名前別にソートし、会報に載せることとする。

Q. メールリスト(ML)の活性化をいかに進めるのか？メール所持の会員の強制加入は考えないのか？

A. MLは加入人数も大事だが、送ったメールに対して誰かがレスポンスすることが活性化のために効果的である。メール所持者の直接登録は会社アドレスも混在していることから当面考えていない。

Q. スカイラインの発行用途は？(現役役員に対し)

A. 現在挿絵、写真が集まらず苦慮している。集まり次第編集し、発行したい。

Q. 小屋の整備(特に雪降ろし)を業者に依頼することは考えないのか？

A. 他大学ではやっているところもあるが、数十万円規模で費用がかかるため、苗名小屋では難しい。ただし、スポットで1回依頼する予算を今年度のOB小屋会計では計上している。

以上

第2章 第1回OB山行報告 (10/29(日)・北横岳ピストン)

総務委員長：田村顕洋(34)

参加者 嘉納(1)、吉野(2)、宮崎(2)、高田(4)、斎藤貞夫(4)(坪庭散策)、安藤(11)、狩野(14)、上野節子(14)、上野さんご主人、鈴木(14)、小口(14)、中島(15)、笹倉(30)、藤井(33)、L.田村(34)、松下(34)、小野(34)、井上(34)、細谷(38)

前日午後から崩れ始めた天気はOB山行当日まで続いた。当日朝は雨&ガス。沈滞ムードがやや旅館ロビーに漂う中、完全装備の嘉納会長が颯爽と現れると俄かに山行へのムードが高まる。10時頃に車に分乗して旅館を立ち、ロープウェイ山麓駅に集合。上野ご夫妻は途中で道を間違えてしまい、後に合流することに。11時、深いガスの中を出発。途中で散策コースに行く斎藤氏と別れる。その後坪庭を抜け、針葉樹林帯の中を高度を稼ぐ。前夜遅くまで語らっていたとは思えないほど軽やかな足取り。樹林帯の中で一度レストをし、12時前に濃いガスと強風に覆われた北横岳南峰に到着。そのまま北峰まで足を伸ばす。誰もいない北峰では「みはるかす」を合唱、鈴木氏がエールをかけた。12時、早々にピークを後にする。下山途中、遅れて到着した上野ご夫妻とすれ違う。来た道を順調に下山し1時前には山頂駅に到着。第1回OB山行は、悪天と前夜の深酒をものともしないOBのパワーにより、無事終了した。



ロープウェイ山頂駅の休憩室で記念写真

第3章 苗名小屋リフレッシュ2000報告 (9/15(金)~17(日))

小屋委員長：笹倉実(30)

参加者 郡司(4)、諸角夫妻(5)、池原(8)、佐木(8)、鈴木(14)、小口(14)、笹倉(30)、藤井(33)、田中(34)、渡邊(36)、佐々(37)、細谷(38)、石川(41)、笠原(41)、佐野(42)、赤井(42)、金丸(42)、古谷(42)、梶ヶ谷(43)、志賀(44)、野島(44)、浅田さん(部外協力) [事前準備段階での協力] 菅谷(6)、伊藤(31)

9月3連休にOB・現役共同で小屋初の大き整備(リフレッシュ2000)を行った。今回の活動は除雪に続く小屋委員会主催の2回目の行事。妙高は天気にも恵まれ、入念な準備と多数の参加により目標はほぼ達成された。懸案の屋根塗装や防腐剤塗りが終わったので次回はイベントを充実させたい。



小屋全景

1. リフレッシュ苗名小屋

朝10時に五八木荘に一旦集合してから小屋に向かう。準備と昼食の後、屋根塗装、壁の防腐剤塗、内部清掃や大作業に分かれて作業を開始した。今回は2連梯子や電動工具、エンジン式草刈器を購入し、さらにレンタルや借用で発電器や掃除機、井戸ポンプを使用。その結果、普段手をつけにくい作業が効率的に進められた。屋根の古い塗装剥がしに予想以上の手間どったが、ペンキ塗りとおわせて2日目夕刻までに無事終わった。倉庫や小屋内も片付き、みちがえるほど綺麗に。今回は備品を揃える費用がかさんだが、今後のメンテに大いに活用可能。また、作業を安全に能率的に行うために作業基準書を作成した。



屋根の塗装



2. リフレッシュワンダラー(交歓会)

夜は杉野沢温泉で汗を流し、初日は小屋内で宴会、2日目夜は小屋前でBBQ。小屋内の宴会では投光器を使い、まるで北アの小屋のような明るい賑やかな雰囲気。2日目は小屋をライトアップし、焚火とBBQセットを囲んでビールと酒を次々と消費した。また、五八木荘の岡田さんと北村さんに設置してもらったドラム缶風呂入浴という稀有な経験をした。焚火を囲んだ宴は3時頃まで続いた。



ドラム缶風呂



「前夜に車で行く旨申し込んだところ、皆様より泊まる所等親切なアドバイスをいただきました。30数年振りの小屋の状況が分からず、テント寝袋等一式持参の参加でした。しかし驚いたことに小屋は綺麗に使われており30数年経った小屋とは思えません。その上でのリフレッシュですから、快適度がさらに増しました。感心したのは、皆さんが黙々とよく働くことでした。皆さん本当にご苦労様でした。またお目にかかれる日を楽しみにしております。諸角(5)」



14期から現役まで歴代主将が大集合

第4章 2001年度の事業計画

OB会事業計画および2001年度予算：OB会常任幹事会
小屋委員会事業計画および2001年度予算：OB小屋委員会

OB会事業計画

会報発行	18号(本会報)・・・苗名小屋リフレッシュ2000報告/総会&山行報告/消息等 19号(8月予定)・・・OB山行報告/リフレッシュ2001案内/総会案内/消息等 予算状況により、追加発行を行う。
OB山行企画	定期行事としての定着を目指し、2001年度は2回(3月と7月)実施。 OB会を通じて各OBが山行メンバーを募集できる環境を拡大。
現役との連携	現役部員の少数化傾向を受け、OBと現役の役割分担の整理を行う。
潜在会員の顕在化	+1OB(プラスワンOB)活動の実施(年間)。 →各役員と支援委員が最低1名、OB会に関わりを持つOBを確保(ML登録、原稿執筆、小屋整備等) 名簿情報の管理体制強化(消息不明を増やさぬよう、期別幹事と連携を強化) メーリングリストの登録数、発言数の増加のための施策を検討する。
役員業務の見直し	継続性を確保できる体制とする。 転勤や仕事環境の変化に柔軟に対応できるようにする。
収入の安定化施策	OB会の認知度を高めることによる納入会員の増加。 現金以外の寄付を受け入れる体制を実現する(図書券、切手、物品など)。

OB会2001年度予算 [2000.10.1~2001.9.30]

前期繰越	662,438
収入	
項目	金額
(前納会費繰延分)	(400,000)
年会費	214,000
前納会費等年度分	100,000
小屋寄付金	814,500
同(諸角氏)	200,000
総会参加費	403,000
名簿郵送関連	17,000
寄付金その他	75,000
計	1,823,500

支出	
項目	金額
会報作成・発行費(18号、19号)	250,000
小屋委員会振替	1,014,500
総会会議室使用料	21,000
総会現役援助	75,000
総会宿泊費他	404,000
幹事会・委員会補助	40,000
名簿郵送関連	17,000
ｽﾀｲﾙ補助(内下村夫人100,000)	200,000
北村氏感謝状・記念品	30,000
関西支部補助	9,000
計	2,060,500
当期収支	-237,000
次期繰越	425,438
(前納会費繰延べ分)	500,000

OB小屋委員会の事業計画

【方針】

- ①現役、OBや家族友人が“多目的に”“いつでも”“気軽に”利用できる小屋を目指し整備する。
- ②OBと現役の整備保守経験の蓄積を通じて保守・管理活動の効率化を図る。
- ③サポート会員の充実を図り、イベント性を有する行事を企画する。

【具体的活動】

定期保守・冬季除雪	計画除雪(現役主催1月・OB主催2月・合同開催3月) 夏～秋期定期整備(リフレッシュ2001)
快適化	小屋独特の雰囲気を残しつつ、焚き火、BBQなどが出来る環境の整備。 日常的な清掃整備に必要な電源や、流し台の復活、水の確保を試みる。
資料整備	「小屋委員会運営規定」の策定。 気軽に利用を促進する「利用手引き」「苗名小屋利用マニュアル」の作成。

	「小屋整備マニュアル（夏期整備編、冬季除雪編）」の作成。
広報活動	小屋関連情報の共有化。 小屋に関する有益な情報や小屋便り等のPR活動を推進する（会報）。 小屋の情報および小屋委員会の活動内容のメールリスト上の公開。
小屋会計	「OB小屋委員会特別会計」に関する会計規程細則の策定
再建調査	現役、OB各位の判断材料を取り揃えることを目的とする。 苗名小屋設立経緯の再整理 過去の再建調査資料、アンケート調査資料の再整理 現状把握→利用状況分析の継続）、寿命診断、現状の維持費用整理

OB小屋特別会計2001年度予算 [2000.10.1～2001.9.30]

前期繰越	0
収入	
小屋寄付金	814,500
同(諸角氏)	200,000
計	1,014,500

支出	
積雪期現地除雪外注費	150,000
修繕・除雪関連費	100,000
小屋関連活動諸雑費	50,000
計	300,000
当期収支	714,500
次期繰越	714,500
小屋修繕積立金	714,500

第5章 会員便り

- 1] 会員の近況 : 総務委員会
- 2] 第12回シニアの集い: 郡司直樹(4)
- 3] 1期の近況 : 松本正雄(1)、藤岡暉生(1)
- 4] 東海道を歩く: 北見美智子(2)

会員近況

(2000年総会出欠ハガキに寄せられた近況報告を抜粋いたしました。)

- 佐藤文雄(1) 会報17号の苗名小屋特集に感無量の思いです。OB小屋委員会まで設立され、頑張る姿に感激しております。
- 吉田光志(1) 三菱パーリントン株社長を去る6月退任し、現在三菱レイヨン株の顧問をしております。
- 平林茂(3) ご苦勞様です。何もできませんがよろしくお願ひいたします。主夫や地域活動を楽しく、忙しくやっています。
- 金田精彦(3) 今年の約半分はエジプト、カイロに出張。8月にシナイ山(約2200m)に登頂しました。
- 白井信行(3) 退職し、今年からシニアOBの山行にポツポツ参加させて載っています。テニス等身体は動かしていますが、体力の衰えはいなめず、少しづつ戻そうと努力中です。
- 高田良子(4) 平成12年3月31日に退職し、現在家庭におります。
- 横山幸子(4) 元気にしています。
- 永田多恵子(4) 遠方のため行事に参加できませんが、同期と連絡はとりあっておりますし、行事予定等読むだけで楽しませていただいております。今後もご連絡をお願いいたします。
- 斉藤貞夫(4) 年25回以上の山行を目標にして頑張っています。
- 中村義勝(5) 時々シニアOB会に出席しています。いつもお世話戴きありがとうございます。
- 中村栄子(5) パートワンダリングで行った神津島が地震の連続だと聞き、その時お世話になり30年以上年賀状の行き来を続けている方に御見舞い申し上げました。地震が落ち着いたから30数年振りに神津島へ行ってみたいです。
- 江角喜一(6) 8月下旬に富士山に登ります。通算6回目であります!
- 服部七郎(7) 下村弘道君追悼のために、勝手気ままな編集で「愛唱歌集」を作製し、OB会HPや苗名小屋で公開しております。原稿の必要な方はEMAILをもらえば送ります。
- 加納和子(7) OB会幹事お世話様です。10月は他の山行も重なり参加できませんが、次回は是非参加させて下さい。畑違いの社会保険労務士業頑張っています。社会保険、年金、定年退職時の手続き等講習いたします。
- 北村勲(7) ご苦勞様です。秋は学校行事等が多く休むゆとりがありません。又の機会を楽しみにしています。

- 早坂宗(8) 時間を見つけて夫婦で山歩きを継続中。今夏は奥穂高岳の快晴に恵まれました。
- 武藤直子(8) OB会にちっとも参加せず申し訳ありません。仕事と家庭と夫と旅行に結構忙しい日々をすごしています。今夏は17日間のカナディアン鉄道の旅を楽しみました。皆さんのご尽力に感謝申し上げます。
- 綾部和子(8) 会報17号をありがとうございました。苗名小屋の除雪活動に参加された方々、本当にありがとうございました。除雪を終えての写真を見て懐かしさでいっぱいになりました。小屋が完成して、仲間と共に肩組みながら山の歌を喜びの心でうたった時のことが思い出されます。夏の終わりに主人(小屋で知り合いました)と30数年ぶりに小屋を訪れてみようと思っています。
- 平沼茂(8) OBの皆様、ご無沙汰しております。サラリーマンとして最後のゴ奉公をしています。あと5年で奉公あけになったら山行(月例)に積極的に参加する予定です(毎回30人の参加に1人追加となります)。現在は土・日はテニス or ゴルフで体力維持をしています。「アルコールはダメ」と産業医に言われて、スポーツのあとはもっぱら「ウーロン茶」でお茶をにごしています。足腰は、何とか衰えるのを防ぐべく努力(1日1万歩 etc) していますが、目と頭(内・外とも)の衰えは防げず、5年后に皆様のゴ尊顔を覚えているか今のところ定かではありません。以上を楽しみたいのですが相変わらず第一線で働かされています。北八ツは懐かしい所でぜひ行きたかったのですが残念です。
- 田中稔(8) お仕事の合間に、OB会のいろいろをして頂き、ご苦労様です。“苗名小屋”へいきたいと思いつつも、行っていません。維持していきたいものです。
- 高橋弓子(8) 一歩前進、二歩後退の状況ですが、商業衛星打上げの夢を追っております。
- 須藤昌博(8) 相変わらず1~2回/年のペースで山行しています。
- 日渡松男(9) 今回は欠席させて頂きます。9期では東京地区にて時々会っております。
- 三浦煌太郎(9) 先輩2氏の訃報に驚いております。心よりご冥福をお祈り申し上げます。
- 丸山英明(10) 夏休みに1人で蓮華温泉-朝日岳-雪倉-白馬-唐松と縦走しました。途中全く逆コースを来た同期の鷺谷(途中退部)家族と雪倉岳頂上で会ったのは、驚きでした。
- 安藤貞利(11) 14期川端君が丹沢で亡くなって30年。7月中旬に14期有志と宮ヶ瀬に行ってきました。ダムができて登り口は変わりましたが現場付近はあまり変わっていませんでした。
- 左藤清(12) 仕事が忙しく、十分な運動が出来ない日々。この夏は少し頑張って北アルプスに行こうと思っています。と書きましたが、投函前に登って来てしまいました。涸沢岳、奥穂、前穂と踏んで岳沢経由上高地へ。久しぶりで、きびしいですね。
- 山川隆(12) 御苦労様です。総会、OB山行にあこがれつつ忙しき及び体力不足、余裕のなさで欠席となりました。総会よろしくお願ひします。山小屋も大事にしてあげてください。
- 海保茂道(13) 会の運営に当たってくださっている皆様、ありがとうございます。老母のことが少し安定したので、近場での山歩き(日帰り温泉つき)を再開しました。7月には25年ぶりに同期の人たちとも会って、OB会にも参加できれば・・・と思ひました。
- 上野節子(14) ここ数年、家族でオートキャンプを楽しんでおります。子供(11、8才)も小さいため、どちらかという旅行を安くあげるための手段です。15、16期の4人で、家族4軒で毎年行っております。
- 萩生田弘(15) いつかOB山行ご一緒させていただけることを楽しみに楽しみにしています！次は10月の初めに?十年ぶりで尾瀬に行けることになりました。ただしなつかしい至仏山山行はなし・・・尾瀬沼散策ですが・・・これを機会に山へ行きたい。
- 西浦章予(15) OB会の運営・企画ご苦労様です。今年(も?)忙しくて参加できませんが、ご盛會をお祈りいたします。同期の連中とも是非来年は・・・と話しております。
- 小泉啓治(15) この夏は11才の娘を含む家族3人と友人達で槍ヶ岳に登りました。このところ、年一クライマーになり下がっています。
- 板垣雅訓(16) 7年前 Scuba Diving のライセンスをとり、ダイビングにはまっています。9/20~9/26 ブーケット島に行ってきます。山は冬場の ski くらいですが、機会があれば東北の山をのんびり歩きたいと思っています。
- 池谷文明(16) 今年の夏は山へ行くことができなかったもので秋こそは!!とプランを練っています。
- 葛窪真紀子(17) 去年の秋、夫と友人が山小屋を利用させてもらい、また行きたいと言っています。
- 渡辺雅子(17) 職場の同僚がワングルの後輩とわかり、驚きました。息子、娘も大きくなり、また、山登りを始めよかなと思うこの頃です。幹事の方、いつも有り難うございます。
- 北沢由実子(17) 会報が充実していて読みごたえがありました。大学時代が思い出され少しセンチメンタルな気分になりました。
- 長谷川三津子(17) ご丁寧なご案内をありがとうございました。今のところ仕事子育て親の介護で忙しい日々を送っていますのでなかなか参加できませんが、そのうち是非皆様のお顔を拝見させていただきたいと願っています。

- 山口幸子(18) 少し前までは家族で山歩きをしておりましたが今は休業状態で淋しく思っております。
- 浜田淳(18) いつもご連絡いただきありがとうございます。
- 笛木久栄(19) 8/22に3ヶ月程かけて回ったピースボートの地球一周クルーズより帰ってきました。横浜近郊で行う総会の折は、是非出席させていただきたいと思えます。
- 小松真弓(19) 秋の親湯、美しいことでしょう。YWVの皆で晩秋(春?)深い雪の中、横岳の上に立ったことを懐かしく思い出しました。学校は2002年に向けてのかり作り等でとても忙しいです。
- 林厚子(19) 3年程前までは厳冬期の南八ツにも登っていたのですが、このところ山から足が遠のいています。今夏は家族で大雪の黒岳にロープウェイでのラクラク山歩を楽しみました。
- 増田敬子(20) いつもご苦労様です。
- 林栄美子(20) 名古屋に引っ越しました。
- 西田雅典(20) 昨夏家族5人で苗場山に登りました。年に1回位はどこかに行こうと思っています。
- 作山栄一(20) 山々から離れて久しく、自分の体重の重さに日々耐える毎日です。
- 寺島一希&美佐緒(22) 折角ご連絡を頂きながら、欠席の返事となり申し訳ありません。子供の近所での行事と重なってしまい、出席できかねます。OB会の益々の発展を祈念します。
- 丸茂俊二(23) 多くの方からメールや郵送で小屋、現役の活動、OB総会のことなどをご連絡頂きながら勤務や子育てに追われ、お手伝いすることができないことが気掛かりです。
- 上村晴美(25) 2人の子供もやっと小学生になり、勤務先での部活動(陸上部)にも少しずつ力を入れられるようになりました。いつか子連れで山に登れる日を夢みている今日この頃です。現役部員の皆様、存分に山を楽しんで下さい。
- 永田武(25) いつもご苦労様。海外国内と出張に忙しい毎日です。年数回山にリフレッシュに行ってます。
- 佐々木恵子(26) 私をはじめ26期のOBが、ご恩のあるYWVに何も関わらず、申し訳ありません。
- 安本健一(30) 皆様大変ご苦労様です。雪かきなどこれからはできる限り協力したいと思ってます。今後も連絡よろしくお願ひします。尚、我が家は3才、1才の子育て奮闘中です。
- 土生達也(30) 3月に子供が生まれました。
- 田中隆一(30) 松江の武家屋敷沿いに住んでいます。近くにお立ちよりの際には、ご一報下さい。
- 藤森朝詩(30) 最近、シーカヤックを始めました。仕事が超多忙です。
- 松尾哲治(31) 忙殺の日々です。小屋の維持管理なかなかお手伝いできず申し訳なく思っています。
- 伊藤明広(31) 8/6に同期で集まって飲みました。年一回ペースですがそれ位が丁度よい関係です。
- 藤森潤子(32) 2才児を連れて山に行ったら大変だったので暫くはオートキャンプ位で楽しもうと思ってます。
- 福島龍三郎(35) OB会の活発な活動に敬服するとともに、直接協力することができず申し訳なく思っています。最近地元の小さい山には時々登りますが、遠出の山行は全く行けずじまいです。夏山の朝一のすがすがしき、そのうち味わいに行きたいです。
- 富澤理子(35) 行きたいと思っていながらなぜかご縁が無かった白馬岳に、やっと今夏、夫と行ってきました。「今度はどこか縦走しよう」と言ってるうちに秋になってしまいました。
- 佐々健太郎(37) 今年の夏はほとんど山へ行けませんでした。
- 富士田誠之(37) 総会には参加できませんがみなさんによろしくお伝えください。大学にあと1年以上はいるので、お手伝いできる場所はしたいです。また声をかけてください。

第12回YWVシニアOBの集いの報告

「第12回YWVシニアOBの集い」は、10/14(土)に苗名小屋でお世話になっている五八木荘で開く予定でしたが、直前になって宿のダブルブッキングが判明する騒動がありました。結局岡田悟さんの手配で最寄の原田荘に変更となり、遠隔地のため従来より少な目の49名が参加しました。

初日恒例の山行は飯縄山(L:池原(8)、参加者8名)と、志賀山(L:吉野(2)、参加者23名)。

天気にも恵まれ、両コース共に最盛期の紅葉と山頂での素晴らしい展望が参加者の心身をリフレッシュしました。志賀山の頂上で吉野Lの携帯電話に飯縄山頂の池原Lからコールが入りました。両者の直線距離は僅か3.4kmであるのに、雲に遮られ残念ながらお互いの山頂がハッキリ確認できませんでした。

参加者が志賀山コースに集中したのは、標高差330mで徒歩3時間半という志賀高原散策のイメージと、志賀山と四十八池巡りの変化に富むコースが人気の要因であったと思われます。実際に、参加者の中には最初の登りで硯川～前山リフトを利用した人もいました。それでも、裏志賀山の登りで直径約1.5cmの落石がわがパーティを直撃した時は、幸い事故には至りませんでした。肝を冷やしました。

飯縄山コースは少数精鋭隊で、中社から飯縄山に登り瑠璃山を経てスキー場経由で中社に戻る回遊ル

ートを歩いて、宴会直前になって宿に到着しました。

宿に集合後、嘉納会長、米屋YWV部長、吉野幹事が岡田さんの案内で、苗名小屋の保守管理でお世話になっている北村千秋さんを訪問し、OB会から委託された感謝状と記念品(置時計)を贈呈してきました。

メインイベントのシニアOBの集いは、嘉納会長の挨拶に引き続き10回参加者表彰が行われ、次の各氏が表彰状と記念品(ステンレス魔法瓶)を受賞されました。

・(連続10回参加者) ---池原(8)、溝田(8)

・(10回到達参加者) ---嘉納(1)、塚原(2)、井上(3)、腰塚(3)、亀井(5)



岡田さんが手違いを謝するため銘酒雪中梅を一升持参して宴会に参加されましたので、皆の前で飛び入りのご挨拶を頂きましたら上機嫌で大満足の様子でした。更にOB総会報告(吉野)、リフレッシュ2000報告(郡司)、シニアOB会月例山行報告(塚原)などの後に、今年4月逝去された故下村弘道氏への黙祷を行いました。その後各期紹介、学生歌合唱、エール、集合写真撮影を済ませ一次会が終了しました。

会場を整備し、1時間後に二次会開始です。この間に内湯に入る者、苗名の湯まで出掛ける者など様々です。二次会はテーブルごとにまと

まり、どのグループも夜更けまで飲み食い喋り、大いに盛り上がっていました。

翌日のコースは高谷池・黒沢池巡り(L:吉野、参加者7名)と、苗名小屋・笹ヶ峰散策(L:塚原、参加者31名)が行われました。池巡りコースは当初斉藤貞夫(4)リーダーの予定でしたが、最近山行頻度過多で膝関節を痛めてしまい、急遽吉野氏が代行することになりました。笹ヶ峰から全身が黄色に染まる林を抜け、黒沢の河原で宿から持参した弁当の朝食です。難所の十二曲りを越えると、高妻山、乙妻山の向こうに北アルプス後立山の山並が見えてきました。高谷池や黒沢池の景色は、将に錦秋で赤と黄色の紅葉、緑の樅の木、岳樺の白い樹幹がオーケストラのハーモニーを奏でている様でした。笹ヶ峰に下山した後に苗名小屋に立ち寄り、苗名の湯で汗を流して帰路につきました。苗名小屋・笹ヶ峰散策コースには岡田さんが同行され、大半の人が初めての苗名小屋を見学した後、岡田さんの案内で皆がなめこ狩をしましたので、とてもよいお土産ができました。一部メンバーはここで帰りましたが、本隊は笹ヶ峰ですばらしい紅葉となめこ汁を賞味して、小林一茶の故郷黒姫駅前で本場のそばを食し、秋の休日を満喫して帰りました。

復刻版・こがらし

3期 井上 肇

十二月は木枯らしの季節です
それだけに空が澄み
それだけに星がきれいに見えます

木枯らしがつかめたい夕暮れ
丘を下りながらのことでした

「あの山の端のが大きいぬ座」

「うん」

「その上のが小さいぬ座」

「うん」

「右に上がって四角の中に

三つ星がならんでいるのがオリオン座」

「うん」

「その上の五角形が馭者座」

「そんな上の星はいわないで」

「どうして」

「だって上を向くと首が寒いんだもの」

「解説」

これは清水ヶ丘に学舎があった時の話です。
清水ヶ丘から南太田への下り道でのことでした。
最後の一言は君子嫌です。

1 期の近況

松本正雄(1)

OB会幹事のPowerに敬服し、何かしら21世紀に期待を持ちたい気持です。若さと吉野以下の老人Power・中高年Powerの融合で、日本も何とかなるのではと思います。

10/3、吉田(光)・望月・桑原・河野・田上・新川・松本で東京八重洲にて、新川退任・引退と吉田社長退任の会に出席し、引退以来始めて東京に行きました。望月氏と桑原氏が八ヶ岳に出るという元気に驚きました。

自分は今80キロを越え、夏は草引きで漸く80を切ったのに、9月以来の雨でサボったら元の木阿弥(最高83.5、W107)。10/11～10/22まで田舎へ帰り山仕事で少し減らそうと思っています。ともかく75キロくらいにならないと皆に迷惑を掛けるので努力中。

OB会役員のメールを読む度に、頭が下がると同時に一粒の種と歳月の重みにただただ感謝。よろしく。来年あたりから頑張ります。年末は妻の3回忌。来年の目標＝運転免許取得と歩きの四国遍路です。

藤岡暉生(1)

昨年は右肘変形性関節症の手術のため総会を欠席しましたが、結果良好でテニス、ゴルフ等支障はありません。今年は大ダイビングライセンスを家内共々取得し、沖縄本島、ケラマ諸島、石垣島とダイビング世界にはまっています。ダイビングはスポーツと言うより精神の癒しとして評価されています。家内をバディー(水中の相棒)として磁石頼りのナビゲーションは、地上より難しく、出発地点に戻ることが困難で、ガイドなしでは全く動けません。14キロのタンクを背負った約30分の水中遊泳自体、奥の深い未知の世界の探索でもあり、水中ワンダリングそのものです。リタイア後の生活は、健康でパートナーと一緒に行動できる趣味の世界を広めることが大切だと実感しているこの頃です。

東海道を歩く(2期北見美智子)

今知られている東海道五十三次は、1601年、徳川家康のときに定められたものだという。全長約420km、男の人なら順調にいけば13日で行ったそうだ。私は20日間で歩いた。1994年である。きちんと記録をとっていなかったのが、家計簿の隅に数行書かれてある文を見返して「東海道を歩く」を書くのは面映ゆい。

その頃、夫は煙草を止めた後肥満となり、「このままだと57歳で死にます」と医者にいわれ、せっせと歩いて減量していた。職場が変わり少しゆとりができたこともあり、「それなら歴史を振り返りつつ東海道を歩こう」ということになったのだ。その2年前に、私が日本歩こう会主催のウオーク(箱根から皇居までの小田原藩の登城コース)を4日間で歩いたので、その続きを…の思いもあった。

94年1月3日、箱根湯本を発つ。休みを利用して数度行き来しつつ名古屋の「宮」まで行き、夏休みに4日間続けて歩いて「大津」へ着いた。初めは牽制しあって無理をして歩きもしたが、その頃には足も慣れ、気持ちにも余裕ができていた。行けるところまで行って泊ることにしていたので、道に迷っても行き止まりにぶつかって引き返さなくてはならなくなってさほど気にしなくなっていた。もっとも一日かけて歩いた道を電車の窓越しに見て、15分で通り過ぎた時にはさすがに顔を見合わせてしまった。

最終日は8月16日、盆の送り火の日だった。「大津」から山科へ抜け「京」へ入った。夫の同僚が4人、ハンザイで迎えてくれ感激したが、この日の暑さは一段と厳しく「やはり京都の夏は暑い」と実感した。

京都だけは宿の予約をしたが、それ以外はいつも日暮れになったら宿を捜すことにしていた。「袋井」では小さな商人宿しかなく、お風呂が一つなので入口で見張ってもらって入らなければならなかった。

昼食も、食事をする所もコンビニもなく、とんでもない時刻になったり抜きになったりした。「石部」で駅が見えたので「やれ嬉しや」とかけ寄ってみたがパンさえなく、真新しい小さな駅には客が一人座っているだけということもあった。

途中いくつかの「宿」はJRで通過してしまったが、この時は箱根から京都まで300kmほどを16日かけて歩いたことになるだろう。

人など歩きそうもない、自動車ばかりが走り過ぎる山あいの道路に捨てられていた5匹の子猫と、これも山の中の車道脇に繋がれていた母犬と2匹の子犬のことは、今思い出しても心が痛む。しかし道中にあった史跡はそれぞれの歴史を語りかけてくれたし、駿河湾に面した千本松原と白い富士や、今も住み続けている「有松」の豪壮な古い屋敷などは、そこにいるだけで満ち足りた思いがした。そして通り過ぎる何もない小さな町々のたたずまいや人々の暮らしぶりを見、時には二言三言ことばを交わしたこと、ニッコリ笑ってあいさつし合ったこと、わざわざ私たちに近寄って「東海道を歩いているのかね。この辺りは昔は…」などと話しかけてくれた人、そういうことも嬉しくて、ずっと歩き続けたのだった。

第6章 寄付の報告

会計幹事：吉野大次郎(2)

昨年来皆様に頂いたご寄付を以下に報告し、御礼に代えさせていただきます。金券や物品の寄付も歓迎します。いただけるものがございましたら、OB会役員又は田村総務委員長[TEL:03-3396-4106(自)/070-5458-3111(携)]/E-Mail: a-tamura@mbg.sphere.ne.jp]までご連絡下さい。

小屋会計への寄付 (2000.12.07 現在)	
205,000 円	諸角壮式(5) & 諸角絢子(5)
150,000 円	1期(5万円×3回)
30,000 円	宮崎絃(2)
20,000 円	左藤清(12)
15,000 円	池原盛彦(8)
10,000 円	田上栄一(1) 吉田光志(1) 吉田輝義(1) 松本正雄(1) 望月元雄(1) 渡邊一良(2) 北見美智子(2) 多田裕子(2) 金田精彦(3) 諸節紀代子(3) 井田貞司(3) 高田良子(4) 服部七郎(7) 松本弘道(7) 坪垂起子(7) 細田隆(7) 早坂宗(8) 須藤昌博(8) 高橋弓子(8) 綾部和子(8) 松本真理子(8) 丸山英明(10) 山川隆(12) 板垣雅訓(16) 渡辺雅子(17) 野住智子(19) 佐々木恵子(26) 松田哲治(31) 伊藤明広(31) 小野恵美子(34)
9,500 円	塚原伸一郎(2) 平林茂(3)
8,000 円	吉野大次郎(2) 高須梓(5) 久保木克子(7) 桜井謙一(11) 土生達也(30)
7,500 円	福島龍三郎(35)
5,000 円	藤岡暉生(1) 塩谷佐紀子(3) 谷上俊三(4) 齊藤伸一(4) 岡本幸雄(5) 加納和子(7) 鈴木博子(7) 平沼茂(8) 早坂富美子(8) 三浦煌太郎(9) 下村蓉子(10) 榎原福司(11) 安藤貞利(11) 村松清一(13) 小口雄平(14) 向井良作(18) 勝山謙太郎(18) 小松真弓(19) 作山栄一(20) 高野利洋(25) 渡邊隆史(36)
4,500 円	林栄美子(20)
3,000 円	桑原忠雄(1) 藤林徹(2) 岩上克尚(2) 渡辺享英(3) 白井信行(3) 齊藤貞夫(4) 横山幸子(4) 中村義勝(5) 中村栄子(5) 永井紀子(6) 菅谷光雄(6) 橋本明美(7) 古宮智津子(7) 菅谷美智子(7) 小出徹(8) 溝田隆之(8) 三浦正継(9) 大森常明(11) 中村友二(13) 鈴木道夫(14) 狩野一子(14) 中村真知子(15) 西浦章子(15) 萩生田弘(15) 丸茂俊二(23) 安藤利光(24) 八木肇(24) 永田武(25) 小宮茂樹(26) 笹倉実(30) 竹澤智(30) 田中隆一(30) 合掌顕(33) 田中義人(34) 田村顕洋(34) 松下淳朗(34) 曾根康博(35) 富士田誠之(37)
2,500 円	岩科健一(8) 日渡松男(9) 中島一夫(15) 寺島一希(22) 寺島美佐緒(22) 佐々健太郎(37)
2,000 円	宮本高子(2) 南雲和江(7) 太田繁信(13) 上野節子(14) 岩船恭子(16) 北林一俊(30) 原倫江(33) 井口健太郎(34) 富澤理子(35)
1,500 円	金子洋吾(5)
1,000 円	原隆子(4) 泉光子(4) 北村勲(7) 野田一夫(11) 高橋秀雄(11) 榎本吉夫(12) 牛窪肖(15) 山口幸子(18) 藤倉大介(21) 溝畑見道(21) 伊藤忠彦(23) 北沢浩一(24) 大津真嗣(24) 上村晴美(25) 中西信之(28) 福島昌彦(29) 下出直孝(30) 細谷慎一(38)
500 円	亀井良英(5)、亀井昭子(5)、藤森朝詩(30)、藤森潤子(32)
物 品	菅谷光雄(6)：テレカ2500円、図書券2000円、レコド券3000円 吉野大次郎(2)：コンロ型ストーブ 諸角壮式&絢子(5)：テレカ5500円 伊藤明広(31)：ウレママット1枚、3人用テント一式
スカイライン補助	下村蓉子(10)：現金100,000円
一般寄付	藤井謙一郎(33)：現金3,000円
リフレッシュ2000への寄付	諸角壮式(5) & 諸角絢子(5)：現金27,268円、ビール1ケース、アイス20個、ジュース10本 菅谷光雄(6)：現金10,000円、ビール券5枚、QUOカード2000円 竹村昇(13)：日本酒1本、ビール券5枚 吉野大次郎(2)：ビール券5枚 伊藤明広(31)：日本酒1本 藤井謙一郎(33)：泡盛1本 禰知明(29)：QUOカード2000円

下村蓉子さん(10)からのご寄付

去る4月1日逝去された下村弘道氏(7)のご夫人蓉子さん(10)より、スカイライン発行援助として10万円のご寄付を戴きました。現役OB一同心より御礼申し上げます。以下は下村さんのメッセージです。

「スカイライン発行にあたり支援金の目途がたっていないことを知りました。差し出がましいようですが、私に少々資金援助をさせていただきたいのですが、いかがでしょうか。生前、下村がワングルの皆様に大変お世話になったことや、葬儀の際の皆様方のご厚情には感謝してもし尽くせないのですが、少しでもお礼をしたいという思いからです…」
下村さんからは、総会の2次会用にビールをたくさん送って頂きました。重ねて御礼申し上げます。

第7章 第2回OB山行・第25回シニア月例山行合同開催のお知らせ

シニアOB月例山行会委員長：塚原伸一郎(2)

総務委員長：田村顕洋(34)

OB会の第2回山行は、シニアOBの第25回月例山行と合同で行なうことになりました。

第1回OB山行はOB総会翌日に19名の参加を得て北横岳で開催されました。今後は年2～3回開催する方向です。一方シニア月例山行は99年1月にスタートし、既に24回実施されております。今回はこの2つの山行を合体し、山梨の茅が岳登山を計画しました。幅広い年代層の仲間と、早春の茅が岳から真白い八ヶ岳と南アルプスを眺めましょう。大勢の参加をお待ちしております。

- ①日時：2001年3月24日(土)、韭崎駅前9：30集合。日帰り。
 ②行先：茅が岳（茅が岳登山口より一周、3°40'標高差754m[地図(25000図)韭崎、若神子、茅が岳]）
 ③交通：韭崎駅＝登山口間はマイカーで送迎します。マイカー出動可能の方はお申し出下さい。
- | | | | | | |
|-------|------|------|------|------|----------|
| 新宿 | 立川 | 八王子 | 甲府 | 韭崎 | |
| | 6:43 | 6:55 | 8:44 | | (各駅) |
| | | | 8:54 | 9:08 | (各駅) |
| 7:30・ | 7:52 | 8:01 | 9:08 | 9:18 | (あずさ51号) |
- ④会費：500円（通信費、写真代）
 ⑤温泉：時間のある方は近くの温泉で汗を流してからお帰り下さい(明野ふるさと太陽館・百楽泉)
 ⑥その他：昼食及び登山に必要な携行品は各自ご持参下さい。雪の心配は殆どないですが念の為軽アイゼンをお持ち下さい。小雨決行。
 ⑦お申込み：3月10日(土)まで
 ・OB会員は田村あてに電話、Eメール等でお申込み下さい。
 田村顕洋(34)：TEL:03-3396-4106(自宅)/070-5458-3111(携帯)メール：a-tamura@mbg.sphere.ne.jp
 ・シニアOB会員は通常通り各期委員を通して塚原委員長あてでお申込み下さい。

会費納入のお願い

2001年度年会費等の納入状況は次の通りです。会の運営は全て会員の皆様の会費納入にかかっております。未納の方は早目にお振込み下さいますようお願い申し上げます。

正会員 466名
 2001年度年会費納入者107名(@2,000円)
 前納会費納入者(別掲)60名(@10,000円)

なお振込みは以下の郵便局振込口座にお願いします。用紙は郵便局窓口のものをご使用下さい。

口座番号：00290-3-2419
 加入者名：横浜国立大学ワンダーフォーゲルOB会

前納会費納入者(2000.12.07現在) 次回の会費支払いは2007年度です。

嘉納秀明(1)	田上栄一(1)	吉田輝義(1)	松本正雄(1)	望月元雄(1)	藤岡輝生(1)
塚原伸一郎(2)	宮崎紘(2)	渡邊一良(2)	齊藤彦司(2)	多田裕子(2)	宮本高子(2)
西村郁代(2)	井上肇(3)	金田精彦(3)	平林茂(3)	諸節紀代子(3)	塩谷佐紀子(3)
齊藤伸一(4)	永田明彦(4)	永田多恵子(4)	高田良子(4)	泉充子(4)	金子洋吾(5)
中村義勝(5)	中村栄子(5)	岡本幸雄(5)	永井紀子(6)	岡田光豊(6)	服部七郎(7)
松本弘道(7)	北村勲(7)	加納和子(7)	坪垂起子(7)	鈴木博子(7)	古宮智津子(7)
平沼茂(8)	早坂宗(8)	早坂富美子(8)	高橋弓子(8)	綾部和子(8)	丸山英明(10)
山川隆(12)	村松清一(13)	上野節子(14)	板垣雅訓(16)	渡辺雅子(17)	北沢由美子(17)
勝山謙太郎(18)	作山栄一(20)	西田雅典(20)	林栄美子(20)	高野利洋(25)	佐々木恵子(26)
北林一俊(30)	笹倉実(30)	小野恵美子(34)	富澤理子(35)	渡邊隆史(36)	富士田誠之(37)

OB小屋委員会からのお知らせ

2月雪下ろし協力をお願い

本年度のOB小屋の事業計画にもありますように、2月にOB主催の雪下ろしを検討しております。

(1) 日程 (いまのところ) 2001年2月17日(土) 10時五八木荘集合

(2) 募集人数: 10名以上

(3) お申込み、問い合わせ先:

笹倉 実(30期) E-mail: sasakura@rtri.or.jp

菅谷光雄(6期) E-mail: m-sugaya@nifty.com 電話: 03-3736-6033

伊藤明広(31期) FAX: 03-5540-0499 (伊藤 MG 宛)

(4) その他: 天候や参加状況により、予定が変動する場合がございます。そのため、参加可否が不明の場合は、仮申し込みだけでもしていただければ幸いです。

総務委員会からのお知らせ

CD-R販売のご案内

この度以下のような内容のCD-Rを販売することとなりましたので、是非この機会にお求め下さい。画像は基本的にJPEG、資料類はWORD2000及びPowerPoint2000で作成されています。異なるバージョンをご希望の方はその旨お申し付け下さい。一部対応できない場合がありますのでご了承下さい。

(1) 内容:

【2001年度総会・第一回OB山行 編】

- ・2001年度総会、第一回OB山行の写真(JPEG数十枚程度)
- ・総会時配布資料

【リフレッシュ2000 編】

- ・リフレッシュ2000の写真(JPEG数十枚)
- ・関連資料

【カラーで見る会報 編】

- ・会報No. 16、17、18

【OB会基本資料 編】

- ・会則及び細則類

(2) メディア: CD-R 1枚

(3) 価 格: 1,000円(郵送料込み)

(4) お申込み: 34期田村まで電話(070-5458-3111)、FAX(03-3396-4106)、メール(a-tamura@mbg.sphere.ne.jp)にて、期とお名前を添えてお申し込み下さい。お支払いに関しましては振込、送金、書留等、幅広く対応いたします。

YWVOB会 会報18号

平成12年12月16日発行

発 行: 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

発行責任者: 嘉納 秀明(1期)

編集責任者: 藤井謙一郎(33期)

編 集 局: 03-5228-3597 / ken-fujii@mc.neweb.ne.jp